

# 前澤工業(株)



大阪支店営業二課

## 西上 真悟さん

環境工学科卒  
入社7年目

### 水処理設備の 営業を担当

前澤工業は上下水道施設の水処理設備や、上下水道の制御に欠かせない各種バルブやゲートの設計・製作・据付を手がけている総合水処理メーカー。入社当初から大阪支店に勤務する西上さんは、近畿・四国エリアの1府3県の事業体に向けて、浄水場や下水処理場に導入する汚泥掻き寄せ機やオゾン処理設備などの水処理設備の営業活動を行っている。

「コロナ禍の昨今は電話でのやり取りが多くなっていますが、お客様の課題やニーズを正確に把握するため、できるだけ現場に足を運ぶようにしています。提案から工

事の完了までを一貫して担当するので、見積対応や工事入札の手続きのほか、受注後の書類作成や工程進捗の確認などもあり、業務は多様です」と説明する。

製品やシステムを提案する際は、いかに顧客に納得してもらえるかが重要となる。そのため、技術部門との連携が不可欠だ。大阪支店では、先輩社員はもちろん、技術部門との距離が近いため、業務の相談や連携が取りやすくとても心強いです。些細なことでも気軽に話せるので、何気ない会話がきっかけで提案内容のアイデアが生まれることもあります」と話す。

地元地域に貢献できる喜び

## 技術部門と連携し営業展開

### 顧客に信頼される営業マンへ

した中、80年以上の歴史と信頼があり、取り扱う製品の幅が広いことに惹かれ、前澤工業への入社を決めた。

印象に残っている

仕事は、2年前に大阪府内の下水処理場の更新工事を受注したことだという。自身と上司の地元だったことから、互いに地元で貢献できることを喜び合った。「近々工事が完了する予定なのでとても楽しみです。技術部門と協力して提案した製品が稼働しているところを見ると、お客様や社会に役立つという実感がわきます。提案段階から工事の完成を見届けると、一貫して携わることができているのが、営業の醍醐味だと思います」と笑顔で語る。

誠実さ忘れず顧客と向き合う

今後については、「お客様に信頼される営業マンを目指したい。お客様のごとにニーズや課題も違



多くの経験を積めるよう日々業務に邁進する

うので、少しでも知識を増やせるよう、幅広い案件を担当し、経験を積むのはもちろん、問い合わせに対して曖昧な回答をしないなど、誠実な対応を忘れず業務に取り組みたい」と意欲をのぞかせる。

学生に対しては、「上下水道事業には、コンサルタントをはじめ、機械や電気設備、土木など様々な分野の企業が関わっています。自分が何をしたいのか軸を見つけてください。応募する企業はどんなことをし、どのような形で上下水道に関わっているのかをしっかりと調べてみてください。その中で重要なインフラを担う当社の魅力も知っていただければと思います」と呼び掛けた。

## 水 道 産 業 新 聞

2022年(令和4年)2月28日(月曜日)